

# 令和 8 年度事業計画

## 1 基本方針

日本の総人口は、2010年をピークに毎年減少が続いている一方、総人口に占める65歳以上の人口の割合（高齢化率）は約30%まで上昇しています。

労働力人口が減少する中で、働く意欲のある高齢者が活躍できる「生涯現役社会」を実現することが益々重要になります。

シルバー人材センターは、退職後の高齢者個々の体力等にあった「臨時的・短期的な就業または軽易な就業」形態を基本に、地元に着した多様な就業機会に対応することを目的としており、人手不足が続いている企業や地域社会から期待が寄せられているところです。

一方、高齢者雇用確保措置（「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」では65歳までの安定した雇用を確保するため、企業に「定年制の廃止」、「定年の引上げ」、「継続雇用制度の導入」のいずれかの措置を講ずるよう義務付けている）によりセンター事業の拡充は厳しさを増しております。

そのような中ではありますが、シルバー事業の発展・拡充は、国の施策の実現や地域社会の期待に応えるために喫緊の課題であります。このため、シルバー事業の根幹である会員について、令和8年の目標会員数は400人と取り組みを進めて参ります。

さらには、シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、国及び地方自治体の施策、地域ニーズに対応します。

以上のことを踏まえ、高齢者の生きがいの充実、地域における就業機会の確保及び会員の充実・増員を更に推進するために、次の事項について積極的に事業を展開していきます。

### ① 働くだけでなく交流や趣味を通じて生きがいを感じるセンター作り

仕事以外の魅力を増やし、入会の促進のみならず退会の抑制を目指す。

イベントの開催や会員交流会、趣味の同好会など仕事のみならず楽しいシルバーを目指す。同時に、イベントや交流会の参加促進策を実施する。

### ② 女性会員の入会促進、就業拡大

育児支援・家事援助など女性の希望が多い職種のニーズに対応し女性会員の就業機会を確保する。また、女性会員入会促進に特化したPRをする。

### ③ マスコミの活用

RCN・新聞マスコミを活用しセンターのイメージアップを図る。

（イベント・女性会員の活動・ボランティア活動等をPR）

### ④ 関係機関との連携

敦賀ハローワーク、福井県生涯現役促進地域連絡協議会、敦賀市老人クラブ連

合会等関係機関との連携を強化する。

⑤ 会員主体の事業展開

会員による会員勧誘、就業開拓を促進する。

⑥ 退職者を対象とした出張入会機会の開催

入会機会の増強（入会説明会を月2回、WEB入会の促進、ハローワーク相談窓口設置）する。

⑦ 普及啓発

敦賀市役所の関係部署、市内各施設・各公民館にシルバー人材センターの案内、会員募集等のポスター・パンフレットを設置（商業施設等）

入会案内チラシを新聞折込み（特に会員不足分野 剪定・草刈・除草・育児家事支援等）、タウン誌の広告の掲載、RCNで映像などのコマーシャルを実施する。

## 2 重点施策

### （1）積極的な事業展開

事業実績については、会員数は令和8年3月末で前年度同期に比べ、女性会員が増加。男性会員が減少し全体ではほぼ横ばいとなりました。また、契約額（派遣含む）については令和2年度に新型コロナウイルスの影響で大幅に減少後、少しずつ持ち直してきましたが、令和7年度は剪定会員の後継者不足などで減少となりました。

令和7年度は、入会促進策についてはハローワークと連携し、月に2回ハローワーク就業相談窓口を設置して、就職活動中の高齢者にシルバーをアピールしました。令和8年度はハローワーク事務局と密に連絡を取り、求職者へのアピール、また相談窓口で入会手続きを勧められるようにし、入会の利便性を向上します。

また、退会抑制策として、会員が楽しめるイベントを開催し、様々な事情で就業の機会がないからすぐに退会へと繋がらないよう、仕事以外でも魅力あふれるセンターを目指しました。令和8年度は会員に参加特典を設け、気軽に参加できるよう継続して実施します。

又、会員不足が顕著になっている分野、「剪定」「機械草刈」「除草」などの就業の敷居を下げるために、体験期間中はセンターから助成金を支払い後継者育成を図っています。また、後継者育成や事業拡大のための技能講習も積極的に開催します。

更には、将来の安定した運営を達成するためには、女性会員の入会促進は最も大事な要素です。令和8年度は、女性会員及び一般市民の参加も歓迎するイベントを企画し、女性のネットワークを活用した啓発活動を展開して更なる女性会員増を目指します。

## (2) 社会情勢への迅速な対応

D X化の波にシルバーも乗り遅れないよう、センターからの配分金明細、会員業務仕様書等様々な情報を確認できるサービス「Smile to Smile」の拡充に努めます。令和8年度も引き続き「Smile to Smile」の登録促進のためスマホ講座を開催します。

また、近年の物価高、最低賃金の上昇にも柔軟に対応していきます。

## 3 実施計画

### (1) 安全就業の推進

- ① 事故ゼロを目指す。安全就業基準の順守徹底や事故の原因を追究し、また万一事故が発生した場合は事故原因の究明、同職群就業会員へ早急に周知し事故防止の認識醸成を図る。
- ② 機器の導入により作業者の負担減少を検討する。
- ③ 熱中症対策として、会員への水分や塩分補給をこれまで以上に呼びかける。
- ④ 安全用具の更なる利用促進（石が飛びにくい草刈刃の使用、防護ネットの使用等）する。
- ⑤ チェーンソー講習（伐木等特別教育）、草刈講習（刈払機取扱作業員講習を実施する）。

### (2) 会員の増員

- ① 地域班と市民との繋がりにより地域のニーズに応え、社会貢献の拡大を推進する。看板事業である剪定、草刈り、除草の就業会員の増強に努める。
- ② センターが実施する能力の向上講習会や研修会に市民の参加を積極的に促す。剪定、ハウスクリーニング講習などを一般市民向けに実施し入会を促進する。  
また、就業会員不足分野の見習いを実施し後継者育成に繋げる。
- ③ 不足分野における会員拡大策として、社会問題である一人暮らしの高齢者宅の生活支援（清掃、ゴミ出し）に対応できる体制を作る。  
また、もう一つの社会問題である少子化支援として、子育て家庭の家事援助も推進する。
- ④ 市の広報誌やホームページ、チラシの新聞折込等の既存の広報に加え、タウン誌への広告掲載、SNSの活用など時代に沿った広報を実施し、センターの更なる知名度アップ、イメージアップを図る。
- ⑤ 会員の仲間の誘い合い「受け手から担い手」への意識転換として「1会員1人入会

運動」を図る。また、新規入会会員の勧誘をしていただいた会員に粗品を進呈する。

- ⑥ 入会し易さ向上のため、ハローワーク就業相談窓口で就業手続きを勧められるようにする。女性会員の入会促進や活躍を推進するため、女性限定の入会説明会や女性が好む趣味の教室の開催を実施する。
- ⑦ シルバーとの関りが薄くなっている会員には、お仕事相談窓口を設け会員が就業相談しやすい環境を整備する。加えて、会員がイベントに参加しやすいよう会員特典を設ける。

### (3) 財源の確保

- ① 関係機関との連携を強化  
高齢者が空いた時間や得意な能力を活かし就業参加できる「就業モデル」を、行政・民間企業にアピールし受注拡大を図る。
- ② 事業の拡大  
独自事業（わんすもあ・託児所たんぽぽ・刃物研ぎ・パソコン孫の手塾）の啓発としてシルバーフェアを開催し、シルバー人材センターの活動をアピールする。  
また、新たな事業として延長保育実施、学童保育参入も検討する。
- ③ 発注者へのきめ細かなフォロー  
行政や関係機関及び民間企業と意見交換等を通じて積極的に把握する。  
また、発注者に対しきめ細かなフォローを実施し、派遣事業等の更なる拡大を図る。
- ④ 隣接シルバーとの連携  
近隣センター間で、近隣地区の受注可能な仕事に関する情報交換し連携策を検討する。また、職員間の交流会を開催する。
- ⑤ 嶺南地区理事長・副理事長・常務理事等会議を開催する。
- ⑥ 看板事業の剪定・草刈り・除草について、職群間で連携しミスマッチの減少に努める。
- ⑦ ホワイトカラーの会員が更に増えることが予想されることから、企業向けに事務受注のPRをする。

## 4 運営基盤の整備

- ① 理事・監事の機能を強化する。  
会議が形骸化しないよう会議の効果及び活性化の観点から、直近に発生している事柄や問題点等をテーマにする等、議事進行において全員参加型の議論を展開する。  
他シルバー人材センター役職員との意見交換を実施する。

- ② 事務局の活性化を図る。  
研修機関と交流研修や事例研究を行い、職員の知識や経験、分析力、洞察力、創造力を高める。
- ③ シニア向けの「スマホ講座」を実施して、今後のD X化に対応しやすい環境を整備する。

## 5 情報の共有化と事務改善

- ① 情報共有化と迅速な情報伝達（I C T）に取り組めます。  
情報収集、センター情報を的確に伝達します。
- ② 会員のインターネット活用サービスの普及に努めます。  
配分金明細や会員業務仕様書等をインターネット活用サービス「Smile to Smile」の利用を促し、会員の利便性向上、センター業務の効率化に努めます。
- ③ 新入会員のインターネットによる入会申込みシステム「らくらくW e b 入会チャンネル」をハローワークで案内し、入会の利便性を図ります。
- ④ 事務の一層の効率化を実現するため、最適な技術や運用方法、信頼性の高いセキュリティ対策を構築し、会員等が安心して信頼できる運営に努めます。

## 6 目標数値

会員数： 4 0 0 人

契約額： 2 2 2, 0 0 0, 0 0 0 円（派遣契約含む）